

医学図書館でのインターネット利用： 旭町分館のインターネット元年

西 脇 紀 子*

新潟大学附属図書館旭町分館

Nishiwaki N. (Asahimachi Branch Library, Niigata University, Asahimachi-dori, Niigata 951, Japan): *Introducing Users to the Internet: Strategy and Process in the Asahimachi Branch Library. Igaku Toshokan 1996: 43 (1): 106-111.*

Nowadays Internet users are increasing rapidly. The Internet is no longer only for technical experts. So Asahimachi Branch Library decided to provide an Internet connection and introduce Internet access to its users. The Internet protocols allow computer-to-computer communication to provide e-mail, network news, gopher, and WWW. In WWW there would be about 8 million sites. We first chose this function, and prepared navigation tools and directories. Also we educated users about the Internet environment. The trend has been toward developing independent end users and the proliferation of networked resources would accelerate this development. The use of Internet as a source of communication, resource sharing, and information delivery will change the way libraries do business and change the behavior of their users. The Internet would be the mainstream of librarianship, so we librarians must acquire new methods of service.

I. はじめに

インターネットは、急速に社会現象として定着し今では接続されているコンピュータは6千万台ともいわれ、連日のようにあらゆるメディアに登場している。インターネットは情報源であり、また情報発信源でもある。そのインターネットを図書館でオープンに利用してもらい、今日刻々と変化し増加する情報をリアルタイムで提供しようと計画し実行したプロセスと将来の展望をここに紹介させていただく。

II. インターネット公開利用

1. インターネット上のサービス選定

インターネットでは電子メール、ftp (ファイ

ル転送), telnet (リモートログイン), WWW (World Wide Web) などが利用できる。WWWはスイスのCERNで開発された情報検索システムの名称で、ハイパーテキストを利用してインターネット上の情報やデータへのアクセスができる。旭町分館では、つぎの理由からインターネット上のサービスは第1段階としてWWWのみとした。というのは、図書館では不特定多数の利用者を対象としているので、インターネットで問題になっているモラルの保護とセキュリティのため当分の間は入力のためのキーボードをはずして利用してもらうことにしたからである。そこでマウスのクリックだけで操作できるWWWをサービスの対象とした。

2. インターネットに接続

パソコンとしてマッキントッシュを用意し通信ソフトのMac/TCPをインストールした。新潟大学は学内LANが整備されているので、総合情報

*Noriko NISHIWAKI : 〒951 新潟市旭町通1-754.

(1995年12月11日 受理)

センターを通して日本のネットワーク網へそして世界へとつながる。こういう環境にない方はあとで挙げる参考文献をみてもらいたい。またこの『医学図書館』にも何人の方がインターネットについて投稿をされているので、接続方法、用語の説明などは重複を避けてそちらに譲りたい¹⁴⁾。

インターネットの WWW を利用するためのクライアントソフトウェアとして Netscape を使用した。これにより、世界中のサーバから欲しい情報を容易に探し出すことができる。Netscape はインターネット上 ftp よりフリーウェアで入手できる。次のようにアクセスする (ftp : //ftp.riken.go.jp/pub/WWW/netscape/2.0b3/mac/netscape-2.0b3.Hqx)。

3. Netscape の Net Directory

WWW では、文章データだけでなく画像や音

声、動画などマルチメディア情報を載せている。これに簡単にアクセスするのに、Netscape の Net Directory を利用してもらうことにした。

Net Directory は Yahoo Directory を利用し、さまざまなジャンルが用意してあるので興味に応じて選べる (図 1)。ちなみに、Medical 関係は Health & Medicine をクリックすると図 2 のように展開する。Net Directory を利用する以外にも、WWW では各 site にリンクがはられているので、ネットサーフィンといわれるくらい、つぎからつぎへと情報の海を渡っていくことができる。WWW にはキーワードをタイプして探すこともできるインデクス WWW サーバもある (代表的なものは、Yahoo や Whole Internet Catalog など)。これらを利用すれば、欲しい情報に直接アクセスできる。Netscape にも Yahoo と同じ Net Search

NET DIRECTORY

If you would like to explore the Internet by topic, you can use one of the online directories below.

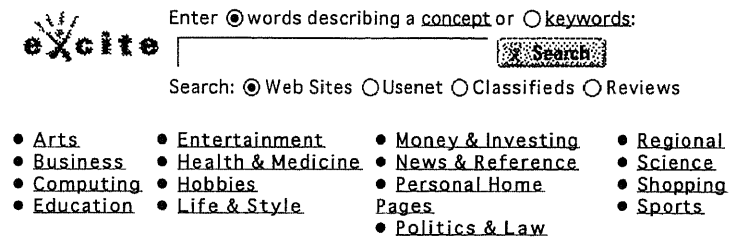


図 1

General / Health & Medicine : Topics

- [Advice](#)
- [Disabilities](#)
- [Diseases](#)
- [Fitness](#)
- [Geriatrics](#)
- [Government Health Organizations \(see /Politics & Law/Governments/United States/Federal/Health Organizations\)](#)
- [Insurance](#)
- [Magazines \(see /Entertainment/Magazines/Health & Personal Growth\)](#)
- [Medicine](#)
- [Mental Health](#)
- [Nutrition](#)
- [Sexuality](#)
- [Substance Abuse](#)
- [Veterinary Medicine](#)
- [Women's Health](#)
- [Regional](#)
- [Science](#)
- [Shopping](#)
- [Sports](#)
- [Politics & Law](#)

図 2

があるので同様のことができるが、当館はキーボードをはずしているため今のところ利用はしてもらっていない。利用者からキーボードをつけて欲しいという要望が多いので、近いうちにできるように検討している。

4. インターネット利用ガイダンス

旭町分館では、毎年 MEDLINE や Current Contents などの講習会を年に2回、医学部・歯学部・医療短大の全講座を対象として行ってきた。

インターネットも、今後同様にガイダンスのなかに繰り込んでいく予定であるが、今回は時期がずれたので次のようにした。利用ガイダンスのポスターを館内や学部に貼り広報し、1回1時間程度のガイダンスを3日間行った。内容はマウスの使い方に始まり WWW の仕組み、リンクの渡り方や Net Directory の利用方法、参加者の実習等である。ガイダンスの参加人数は延べ22人であった。少ないようであるが、自分の研究室ですでにインターネットを利用している人が各講座に数名

はいることが事前にわかっていたので、インターネットを自分のところで使える環境にない人がきてくれたのだと思う。時間帯の関係でガイダンスの対象にできなかった学生と、参加できなかった教職員にはその都度個別に利用指導している。

あと準備としては利用マニュアルと、どれくらいの利用者がいるかをみるための利用簿を用意した。

5. 利用の方法

学生、教職員を対象として9時から5時まで自由に利用できる。多くの人に利用してもらうために1回30分としているが、つぎに待っている人がいない場合は制限はしない。

操作端末は上記の時間帯は常に ON の状態になっているので利用者は Netscape のアイコンをクリックしてスタートする。最初は図書館のホームページ(図3)へ入ってもらいそこで図書館のガイドや新しいお知らせをみってもらう。そこから上で書いたように Net Directory を利用することも、リンクを利用してほかの学部のホームページからア

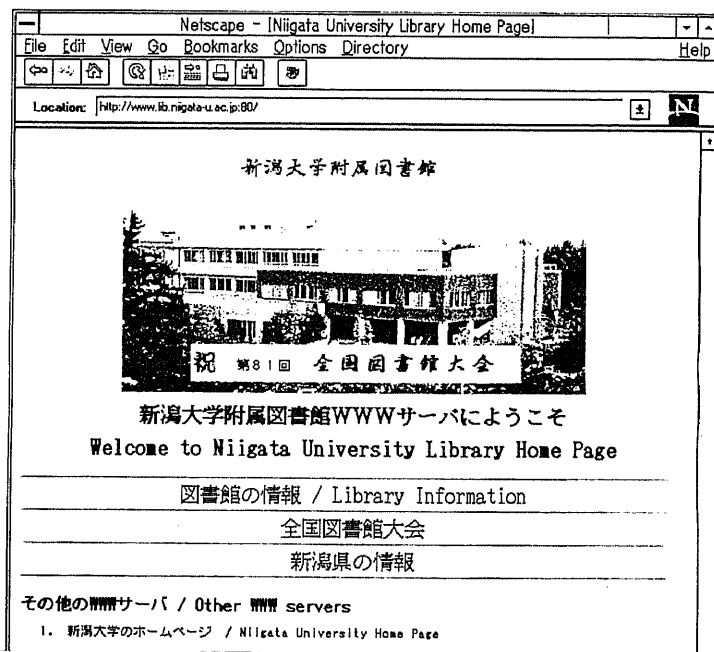


図 3

報を受け取るだけでなく WWW で情報を発信するため、本館で図書館のホームページを作成した(図3)。載せている項目は、図書館の location, 図書館利用の guide, 主要コレクションについて、学内 LAN 経由の OPAC 検索ガイド、新潟大学図書館だよりなどである。そしてそこに、新潟大学のホームページに飛びリンクがある。

ここ旭町分館でも、医学・歯学系キャンパス利用者向けのホームページを作ろうと次のように進めている。

2. 旭町分館ホームページ制作

WWW で情報を提供するハイパーテキストは、HTML (HyperText Markup Language) という言語で書かれ(図4)、文書・画像・音声・動画をクライアント画面に出力する。そのテキスト中に他の情報へのリンクのタグをはる事ができる。この HTML でハイパーテキストを作成すること、画

像の作成およびスキャナーを使っての画像取り込みなどホームページの作成に必要な基礎的技術を習得するため、館内で講習会が開かれた。受講生は自分のホームページを作ることにより、HTML や画像データの処理などの基礎を学ぶことができた。また、WebWeaver というソフトを使うと普通に書いた文を簡単に HTML を使ったハイパーテキストに直すことができる。これから、旭町分館の情報発信のためのホームページを作り、そのなかに各自の系のホームページをリンクさせて、今まで、紙で流していた情報を即時に伝えたい。このようにインターネットでは文字や画像による情報を相互に、瞬時に通信することが可能になり、それが今までにないパワーとなって私たちの生活に変化をもたらしつつある。この図書館からも、鮮度のよい情報を常に提供していきたいと思っている。

```
<HEAD>
<TITLE>Niigata University Library Home Page</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
<CENTER><IMG SRC="library.GIF" ALT=""></CENTER>

<CENTER><H2>新潟大学附属図書館WWWサーバによるこそ</H1>
<H2>Welcome to Niigata University Library Home Page</H1></CENTER>
<HR>
<CENTER><FONT SIZE=5><A HREF="Annai/annai.html">図書館の情報 / Library Information</A></FONT></CENTER>
<HR>
<CENTER><FONT SIZE=5><A HREF="Taikai/index.html">全国図書館大会 終了のご挨拶</A></FONT></CENTER>
<HR>
<CENTER><FONT SIZE=5><A HREF="Niigata.html">新潟県の情報</A></FONT></CENTER>
<HR>

<H3>その他のWWWサーバ / Other WWW servers</H3>
<OL>
<LI> <A HREF="http://www.cc.niigata-u.ac.jp">新潟大学のホームページ / Niigata University Home Page</A>
</OL>
<HR>
このサーバは只今試験運用中です。
This page is under construction / SHIFT-JIS encoded text

<HR>
<ADDRESS>高島 <a href="mailto:takashim@lib.niigata-u.ac.jp">takashim@lib.niigata-u.ac.jp</a></ADDRESS>
</BODY>
```

図 4

アクセスすることもできる。あとの場合を説明すると、図書館のホームページには新潟大学のホームページへのリンクがある。そこには医学部を始めとして各学部へのリンクがはってある。例えば医学部のホームページには、UMIN, WHO など医学関係のサイトへのリンクがあり、歯学部のホームページには、WWW Map for the World と WWW Map for Japan などへのリンクがある。また、Virtual Libraries, W3 Servers, What's New in Japan (NTT) などもあるので、テーマにそったアクセスが可能である。WWW は、クリックだけで簡単にできるので利用者は興味のある WWW の情報の海を自由にネット・クルージングできる。

今、話題の画像については Multimedia Medical Reference Library にある Medical Images and Movies は画像データを Anatomy, Dermatology などの分野ごとにみることができる。

6. 利用状況

1995年7月3日のサービス開始以来11月30日までで5カ月が過ぎた。7, 8月の夏休みがあったので、実際に利用され始めたのは9月の中旬からであったが、学部別利用の人数(表1)と1回あたりの時間(表2)を示す。利用簿に記入しない人もいるが、そこを考慮にいれても、まだ多くの人に利用してもらうためのアピールが必要と思

表1. インターネット利用人数

学部名	医学部	歯学部	医療短大	その他	合計
人数	110	31	12	19	172

(1995年7月3日～11月30日)

表2. インターネットへの1人1回あたりのアクセス時間

時間(分)	1～15	16～30	31～60	61～
割合(%)	28	39	30	3

う。が、利用者は週を追うごとに増加し、11月は午後になると学生がひきもきらずインターネットを楽しんでいた。

7. 利用している WWW のジャンル

インターネットの WWW サーバは自由にネット・クルージングしてもらうのが醍醐味であり、個人のプライバシーもあるので、調査はしていないが、任意に利用者に聞いてみると、学生は entertainment 分野を、留学生は母国の情報をこまめにチェックしているようである。研究者は様々な分野をみているようであるが、海外の研究者との交流のために研究機関の情報や海外の in press の出版情報などが役にたつそうである。

8. 利用を勧めている医学関係の WWW サーバ

医学関係のサーバはたくさんあるが、その中からいくつかを Netscape の Add Bookmark にいれておくと、利用者はリンクを渡り歩かなくても直接アクセスできる。キーボードからの検索ができないとそこにたどりつくのにかなり時間がかかるので、旭町分館ではそうしている。医学関係のサイトについては UMIN など数多くあるが、1つだけあげるとアイオワ大学の先端的トライアルの The Virtual Hospital (<http://vh.radiology.uiowa.edu>) (図4)が面白い。ここは、24時間体制で患者や開業医に役立つ教育情報を提供している。内容は、イメージ画像を含む医学教育資料、患者診察シミュレーション、ケーススタディ、地域の病院やクリニックの紹介などである。

II. 図書館からの情報発信

1. 新潟大学附属図書館 WWW サーバのホームページの立ち上げ

インターネットでは、さまざまな情報にアクセスできるのと同じく自由に情報を発信できる。情

Ⅲ. 将来に向けてのインターネットの利用

1. 図書館ガイダンスに利用

ガイダンスの内容をあらかじめパソコンで作り、ワークステーション上のホームディレクトリーに保存しておく。ガイダンスを行う会場で、ftpでファイルを取りこみスクリーンに映す。会場の広さの問題で図書館では行えなかった学年全部を対象とするガイダンスも可能になる。今までのビデオやスライドによるガイダンスに比べればその制作準備はずっと容易になると思う。さらに、コーネル大学で開発されたCU-SeeMeはインターネット中の人たちとテレビ会議ができる。これを使えば、図書館の現場から実際のガイダンスも放送できるだろう。

2. Journal データベースの文献検索

インターネットには雑誌のデータベースもたくさんある。たとえば、(これは旭町分館で職員はすでに利用しているものであるが) CARL (Colorado Alliance of Research Libraries) の中のUnCoverは約17,000の雑誌のデータベースで検索は無料でできる。telnetコマンドでアクセスする(telnet carl.li.asu.eduと入力)。そのほかにも、J. Cell Sci., J. Biol. Chem.やAm. J. Physiol.などでWWWでアクセスできる雑誌が増えているのでキーボードを取り付けた時点で利用者の検索に供したい。Current Contentsよりはやく情報が入手できるメリットは大きいと思う。

3. インターネットでコンテンツ・サービス

上記のUnCoverが提供しているサービスの中にUnCover Revealがある。これは電子メールで

雑誌の最新号のコンテンツを送ってくれるサービスである。旭町分館では毎週のコンテンツ・サービスにかなり人と時間をかけているが、このUnCover Revealを利用することにより、別な方面にサービス業務を向けることができるのではないだろうか。

Ⅳ. おわりに

図書館でのインターネットのサービスは始めたばかりであるが、利用者はこのところ急速に増えている。講義でインターネットを利用して行うケースも増えているので、学生、教官、留学生と対象ごとにきめ細かくサポートできるようにしたいと思っている。

なお、この事例報告は1995年11月に行われた第2回医学図書館研究会で発表させていただいた内容をもとにしている。説明不足のところや誤りがあれば、下記まで電子メールをいただければ幸いである。

nishiwak@medlib.lib.niigata-u.ac.jp

参考文献

- 1) 渥美恵子. インターネットを情報源・発信元として活用するための医学図書館員向けガイド. 医学図書館 1995; 42(1): 80-6.
- 2) 石田晴久, 後藤滋樹編. インターネットの使い方. bit別冊 東京: 共立出版, 1995.
- 3) 鶴川義弘, 水島 洋編. マッキントッシュとインターネット. 東京: 羊土社, 1995.
- 4) 川村 昇. インターネットへの接続. 医学図書館 1994; 41(1): 53-8.
- 5) Gilster P. インターネット. ナビゲータ. 東京: 丸善, 1995.
- 6) Krol E. インターネットユーザーズガイド. 東京: オーム社, 1995.